



凍結から水道管を守るために

○特に凍結しやすい場所

- ・風当たりの強い所にある水道管やメーター
- ・北向きで日陰にある水道管やメーター
- ・むき出しになっている水道管
- ・家の外にある蛇口

○メーターボックス内を保温

メーターボックスの中に、水道メーターを保護するように保温材（発泡スチロールや布切れ等をビニール袋に入れたもの）を詰めてください。
※検針の際に取り出しやすいように、小袋に分けて入れてください。



○露出している水道管や蛇口を保温

水道管や蛇口に保温材や毛布等を巻き付け、水に濡れて凍らないようにその上からすきまなくビニールテープ等でしっかり巻いてください。
また、加温式（電熱式）凍結防止器を利用する方法もあります。

○水を出しておく

翌朝強い冷え込みが予想される時は、前夜から箸の太さぐらいに水を少しずつ出しておくのも有効です。
※出した分の水については、料金がかかりますので出し過ぎにはご注意ください。お風呂の浴槽などにためるようにして有効活用しましょう。

水道料金が増えたら

○漏水していないかチェック！

冬は、凍結による水道管の破裂で漏水が発生しやすくなります。「いつもと同じように使っていたのに、急に水道料金が高くなった」「いつも地面や壁が濡れている」といった場合には漏水が疑われますので、水道メーターをチェックしてみましょう。

○漏水の調べ方

- ①家庭内の蛇口を全部閉めてください。この時、トイレや給湯器、散水栓等でも水を使用していないことを確認してください。
- ②メーターボックス内の水道メーターのパイロット（右写真の銀色のコマ）を確認してください。
- ③水道メーターのパイロットが少しでも回転している場合は、漏水している可能性がありますので、お早めに「市指定給水装置工事業者」に修理を依頼してください。

○漏水による水道料金の減免制度

地下漏水等については、料金の一部を減免する制度がありますので、水道課にお問い合わせください。

■問い合わせ■ 水道課 総務グループ ☎52 - 0427

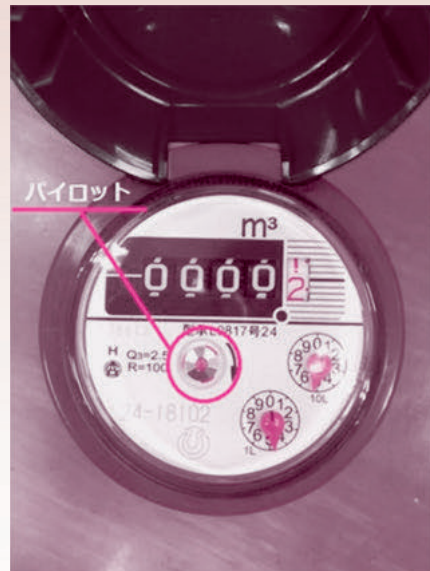
○こんな時は注意

- ・外気温がマイナス4度以下になった時
- ・旅行で家を留守にするなど、長期間水道を使用しない時

水道だって 寒いんです

ー 温めましょ う皆さんでー

寒さが厳しくなると、水道管や水道メーターなどが凍結し、水が出なくなったり、破裂したりして、高い修理費用がかかる場合があります。ちょっとした準備で水道を守ることができるので、それぞれのご家庭で防寒対策を行いましょう。



凍結してしまったら

○ぬるま湯をかける

凍った部分へタオルや布をかぶせ、必ず「ぬるま湯」をゆっくりとかけて溶かしてください。
なお熱湯をかけると、水道管が破裂する恐れがありますので注意してください。
※蛇口を開けても水が出ない時は、蛇口をあけたままにせず、必ず閉めてください。

破裂してしまったら

○市指定給水装置工事業者へ修理の依頼

水道管が破裂した時は、メーターボックス内の補助止水バルブを閉めて水を止めます。応急処置として破裂した部分に布かテープをしっかりと巻いて、「市指定給水装置工事業者」に修理の依頼をしてください。
なお、「市指定給水装置工事業者」が分からない時は、水道課にお問い合わせいただくか、市ホームページ（くらし→水道→水道工事は市指定給水装置工事業者へ）でご確認ください。

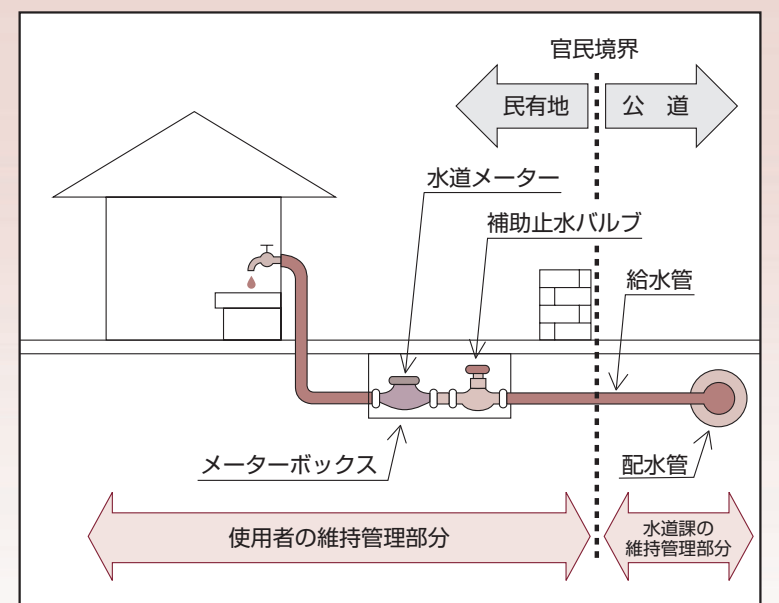
常陸大宮市ホームページ
<http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/page/page000158.html>



給水装置の修理は誰がするの？

道路に埋設している水道管（配水管）から分かれて、家庭まで引き込まれた給水管、止水栓、水道メーター、蛇口などをまとめて「給水装置」といいます。これら給水装置は、水道メーターを除いて使用者（所有者）の財産となります。給水装置のうち公道部分については市で維持管理をしていますが、民有地の凍結による水道管破裂や、老朽化による漏水等の修理費用については、使用者（所有者）の負担となります。（図参照）

漏水は大切な水を無駄にするだけでなく、家庭では思わぬ出費にもなりますので、日ごろから凍結防止や給水装置の点検に努めましょう。



～水は限りある資源です。大切に使いましょう～